

授業科目	欧米文化交流研修 A				単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21801J	
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP3-1			
担当教員	友原 嘉彦							
授業概要	人文学部両学科の専門性を高め、教養を深める。かつて西欧と東欧に跨り、現在も欧州の中心で政治、経済、文化などを牽引するドイツの事情について、ドイツ語にも触れつつ、まずは第12講まで本学の講義で学ぶ。残りの3講を用い、夏季休暇中に3週間、ドイツのザクセン州の州都ドレスデンに行き、(媒介語として英語も用いながら)ドイツ語を学ぶ(英語学科生にとっては外国語を教える環境、言語教育の一端を学ぶことができる)。現地ではドイツ語の授業以外にもさまざまな観光資源に足を運ぶ(観光文化学科生にとってはドレスデンの観光の取り組みについて学ぶことができる)。また、週末にはドイツ国内の近隣都市とチェコのプラハにエクスカージョンする予定である。							
学生が達成すべき行動目標	①観光も含め、ドイツの事情を知り、日本とも比較させて考えることができる。 ②ドイツ語の基礎を修得することができる。 ③ドイツ語や英語でコミュニケーションが取れるようになる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	70	0	0	20	100	
知識・理解 (DP1-1)		5	15				20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)		5	15				20	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			40			20	60	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
ドイツの事情とドイツ語の基礎を十分に修得できる。				ドイツの事情とドイツ語の基礎を修得できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	・ガイダンス			講義		復習		80

2	・ドイツ史 1(中世まで)	講義	復習	80
3	・ドイツ史 2(神聖ローマ帝国)	講義	復習	80
4	・ドイツ史 3(普墺戦争と普仏戦争、ドイツ統一)	講義	復習	80
5	・ドイツ史 4(2つの世界大戦)	講義	復習	80
6	・ドイツ史 5(第二次世界大戦後、ドイツ再統一)	講義	復習	80
7	・ドイツの文化	講義	復習	80
8	・ドイツの社会	講義	復習	80
9	・ドイツの地理	講義	復習	80
10	・ドイツの言語 1(アルファベットと挨拶)	講義	復習	240
11	・ドイツの言語 2(人称と動詞、助動詞)	講義	復習	240
12	・ドイツの言語 3(数詞)	講義	復習	240
13	・ドイツでの学び(ドイツ語、観光など)1	講義、視察	復習	1200
14	・ドイツでの学び(ドイツ語、観光など)2	講義、視察	復習	1200
15	・ドイツでの学び(ドイツ語、観光など)3	講義、視察	復習	1200
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツについて興味関心があること。</li> <li>・ドイツについて興味があることを調べ、知っておくこと。</li> </ul>			
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森本智子(2013)『ちいさなカタコト*ドイツ語ノート』国際語学社</li> <li>・上記書籍の使用だけでなく、レジュメも用意します。</li> </ul>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>◎必ずお読みください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、8月14~30日のドイツ研修(ドレスデン工科大学での3週間の学び)の参加により、単位を認定します。但し、客観的にやむをえない事情があればこの限りではありません。</li> <li>・航路や航空券の事情により、上記の日程の前後3日程度はスケジュール確定後まで空けておいてください。</li> <li>・単位は後期に認定となります。前期卒業の方は履修をしないようご注意ください。</li> <li>・費用はすべて込みで40万円程度を予定。食事代など任意でない部分は少しでも抑えられるよう努力します。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	ドイツに行っているいろいろなことを学びましょう。きっととても成長できるはずです。			